



CONTENTS

	頁
■ ごあいさつ	2
■ 経営方針	3
■ 2019年度中間期の事業の概況（単体）	4
■ 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための 取組みの状況～地域密着型金融の実践～	5
資料編	
■ 単体情報	9～28
・ 経営指標	9
・ 中間財務諸表	11
・ 損益の状況	17
・ 預金	19
・ 貸出金	20
・ 不良債権の状況	23
・ 証券業務	24
・ 有価証券の時価等情報	25
・ 金銭の信託の時価等情報	26
・ その他有価証券評価差額金	26
・ デリバティブ取引情報	27
・ 株式の状況	28
■ 連結情報	29～41
・ 銀行及びその子会社等の概況	29
・ 銀行及びその子会社等の主要な業務	30
・ 銀行及びその子会社等の直近の2中間連結 会計期間における財産の状況	31
■ バーゼルⅢ第3の柱に基づく 開示事項	42～55
■ 開示項目一覧	56

PROFILE

■ 名称	株式会社 筑邦銀行
■ 本店所在地	久留米市諏訪野町2456-1
■ 設立	昭和27年12月23日
■ 総資産	7,871億円
■ 預金・譲渡性預金	7,096億円
■ 貸出金	4,954億円
■ 資本金	80億円
■ 株主数	2,733名
■ 従業員数	557名
■ 店舗数	44か店 ^(注)

(注) 店舗内店舗形式は8か店
(2019年9月30日現在)



シンボルマーク

筑邦銀行の頭文字のCをモチーフとしたスマートでダイナミックなフォルムは銀行と地域、お客さまとの輪を、3本の線は「ちくぎん」が大切にしている3つの(C) Challenge・Confidence・Communicationを表します。

表紙について

(九州芸文館：福岡県筑後市)

九州芸文館は2013年4月、全国初の「公園の中の駅」として注目される九州新幹線筑後船小屋駅前に誕生した芸術文化交流施設です。「芸術文化」「体験」「交流」の3つを活動の柱としています。

世界的な建築士である隈研吾氏が設計協力した建物は、近代的な造形の中にも地元の建築素材や風景を取り入れるなどのアイデアが詰まっています。

300人程度を収容できる大交流室、料理教室も開ける教室工房、陶芸体験ができるアネックスなど、充実した設備と特徴のある部屋で構成され、一年を通じて芸術、文化に関するイベントが開催されています。フィルムステンドグラス・消しゴム判子・銀粘土アクセサリーなどの、ものづくりを体験できる講座「九州芸文館アカデミー」も人気です。

また、ダリ、ロバート・キャパ、田崎廣助、土門拳、歌川広重、手塚治虫など様々なジャンルの特別展が数多く開催されています。福岡県南部の文化拠点である九州芸文館に、ぜひ足を運んでください。

九州芸文館ホームページ：<http://www.kyushu-geibun.jp/>
写真出所：九州芸文館

●本誌は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

●本誌に掲載している計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。